

「芸術文化による社会支援助成」活動報告会 第5回

うた・ことば・からだ

—多様な人が出会う場づくりの可能性

アーツカウンシル東京では、障害のある人、高齢者や子供、外国人など、さまざまな人々と芸術文化をつなぐ活動や芸術文化を通じて社会課題に向き合う活動を支援する「芸術文化による社会支援助成」を、平成27（2015）年度に開始いたしました。さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市のさまざまな課題に取り組む活動、社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人に開かれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動を支援しています。



本助成の対象となった活動を紹介するとともに、参加者を交えた意見交換を通して、団体・個人間のネットワークの構築を目指す報告会を令和3年度から実施しています。第5回目となる今回は、練馬区光が丘で20年近く、知的障害者をはじめさまざまな人が集まり音楽やダンスを楽しむ場をつくってきた表現クラブがやがやと、墨田区両国で多彩な音楽事業の発信とともに、誰もが開かれた地域のホールとして事業に取り組んできた一般社団法人もんてんにご登壇いただきます。集まる人それぞれが自分の居場所だと思える場をどのようにつくっていくか、その過程におけるうたやダンスを通じたコミュニケーションの在り方、そして、そこから生まれる既存の「芸術」や「アート」の概念に留まらない表現の可能性について、両団体の報告を通し考える機会とします。

◆ 登壇団体 ◆

表現クラブがやがや

報告者：小島希里（代表）、山田珠実（ダンサー）

2003年、練馬区立の青少年館が主催する講座の参加者を中心に設立。区内に暮らす知的な障害を持つ人たちを中心に、音楽好きダンス好きが月一、二度集まり、歌って踊って遊んでいる。そこで生まれた歌やダンスを作品として構成し、年に一度「がやがやライブ」として公演を行っている。

採択事業：

- 平成29年度 第2期「がやがやライブはじまるよ!」
- 平成31年度 第1期「あっちでがやがや、こっちでがやがや」
- 令和4年度 第1期「あっちでがやがや、こっちでがやがや2022」



一般社団法人もんてん

報告者：黒崎八重子（プロデューサー）、赤羽美希（音楽家）

1989年の開館以来、「伝統と現代」という2極を行き来しながら、質の高いアート体験の提供と幅広い観客層の育成を目指して、さまざまな音楽やパフォーマンスを意欲的に紹介し上演してきた門仲天井ホール。2013年より両国に場所を移し、新たなアートスペースとして呼び名を両国門天ホールと改め、さまざまなジャンルのアーティストや地域とのパートナーシップを活かし運営をしている。常に実験的なイベントが開催され、新たな文化を生み出している。

採択事業：

- 令和3年度 第1期「コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから」
- 令和4年度 第1期「コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから2022」
- 令和5年度 第1期「コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから2023」



日時：2024年2月9日（金）18:30～21:00（開場18:15）

場所：アーツカウンシル東京 5階会議室 東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス5階

料金：参加無料

定員：40名（事前予約制／先着順）

手話通訳・UDトークによる日本語字幕表示あり

ファシリテーター：小川智紀

グラフィックファシリテーター：関美穂子

手話通訳：加藤裕子、瀬戸口裕子

申込方法

QRコードより必要情報をご記入の上、お申込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S685363388/>

申込締切：2024年2月8日（木）正午

※定員になり次第受付を終了いたします。



主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
問合せ：「芸術文化による社会支援助成」運営担当（合同会社syuz'gen）
E-mail：act_ss@syuzgen.com FAX：03-4333-0878

※本報告会は主催者の広報及び記録目的に写真・音声・動画の収録を行います。
※本報告会后レポート記事をアーツカウンシル東京のウェブサイトで公開します。

